

# 景観

LANDSCAPE

# KEIKAN

上越人のDNAを探る

景観情報紙  
2014.3



「極楽橋と桜（高田公園）」

伝えたい、こころのなかに輝く“景観”

## 景観関連作品を募集しています。

市では、広く市内外の皆さんから上越の素晴らしい景観を知っていただくため、市民の皆さんの心の中に輝く景観や、特別な思い入れのある景観をテーマとした「景観関連作品」を募集しています。

四季折々の自然の風景、日々目の当たりにしている「まち」の風景、お祭りの風景など、皆さん一人ひとりが心地よいと感じる風景“とっておきの上越”の応募をお待ちしております。

景観は、私たちが日常目にしている風景であり、地域や「まち」の表情そのものです。



「灯の回廊」（安塚区）

# これまで応募のあった作品の一部をご紹介します。

現在、市では、多くの皆さんから当市の景観を知っていただき、景観資産の特定につなげていくことを目的に、「景観関連作品」を募集しています。昨年5月から募集を開始したところ、様々な作品の応募がありましたので、今回はその中から8点の作品をご紹介します。

なお、このほかの作品で、今回紹介できない作品は、平成26年度に予定している「景観作品展」などで皆さんにご紹介します。

作品は引き続き募集しています。皆さんのお気に入りの一場面をぜひご応募ください。



作品① (油絵) ～花咲くダム～

**時期** 6月下旬  
**場所** 正善寺ダム  
**どのような景観** 湖面の深い緑、アジサイの白・青・紫、ブリッジの薄い緑など、様々な色のコントラスト  
**作者の作品への想い** 小学生の頃、遠足でこの地へ来ました。その時はあいにくの雨模様でしたが、雨に打たれた湖面が面白く、今でもその模様が忘れられずに年4～5回は訪れています。

作品⑤ (写真) ～春の訪れ 名立川～

**時期** 早春 (3月下旬)  
**場所** 名立川  
**どのような景観** 名立川のせせらぎと春の訪れ  
**作者の作品への想い** 大自然に囲まれた情緒あふれる名立川。その清らかで豊かな水は、人々の生活に潤いを与えます。私の心を育んだ大自然と名立川は、いつまでも守り続けたい景観です。



**解説・想い**  
 五智国分寺の参道にある八重桜が見事に咲き誇っている日に句碑巡りをしました。そのときの一句です。

作品② (俳句)  
 五智 五智  
 残花 残花  
 静も 静も  
 りに りに  
 れり れり



作品③ (水墨画) ～ライオン像～  
**時期** 5月頃  
**場所** 直江津地区  
**どのような景観** ライオン像と建築物の調和  
**作者の作品への想い** 名所旧跡を訪ね、ライオン像が佇む旧廻船問屋・旧銀行をいろいろな角度から見たときに、一番印象に残ったライオン像を描きました。



作品④ (写真) ～白鳥の宿 上吉野～

**時期** 初冬の早朝  
**場所** 上吉野池  
**どのような景観** 妙高山を背景に飛び立つ白鳥  
**作者の作品への想い** 「上吉野池」に白鳥が訪れてから、早や15年。保倉地区の人たちの温かい気持ちが伝わり、この池を選んで毎年飛来する白鳥と、うっすらと雪化粧した妙高山のその姿は、晩秋から初冬への移り変わりを感じさせ、心が和みます。



作品⑧ (写真) ～清里区荒牧の白看板城址から見た頸城平野と日本海～

**時期** 11月  
**場所** 白看板城址山頂(清里区)  
**どのような景観** 頸城平野と日本海  
**作者の作品への想い** 上杉謙信公の時代、春日山城跡の正面に位置する山城として築かれた白看板城。その城址山頂からは頸城平野と日本海を一望することができ、晴れた日には佐渡までも望むことのできる素晴らしい地です。

**応募要領**  
 ◆応募期限 平成26年6月30日(月)  
 ◆応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、応募作品とともに市役所木田庁舎3階の都市整備課までお持ちください。  
 ※市役所木田庁舎への搬入が困難な場合は、ご相談ください。  
 <詳細な応募方法は、市役所木田庁舎のほか各区総合事務所などに設置している募集要項又は市ホームページなどでご確認ください。>



**解説・想い**  
 桜の季節、九十二歳の母の手をしっかりと握りしめ、二人で高田公園を歩きました。ふと、高校生の頃、母と手を握りこの地を歩いた記憶を思い出し、その手の温もりを覚えた時の一句です。

作品⑥ (俳句)  
 母の手を握り花びら  
 ひらひらと

**解説・想い**  
 東本町の通りで雪が降り積もった大雪の日、通りから軒、そして屋根まで連なって見える雪景色を歌いました。

作品⑦ (短歌)  
 屋根雪と見上げて通る町家かな  
 通りの雪も屋根につながる

# 市民活動団体の取組を紹介します。



▲涼しさを呼ぶ「風鈴街道」



▲街なみ保全活動の一つ「屋根の塗り替え作業」

上越市景観審議会委員  
特定非営利活動法人  
街なみFocus理事長  
越後高田・雁木ねっと  
わーく会長

高野 恒男さん



高野さんに、雁木の魅力と景観についてお聞きしました。

## ●高田の雁木の魅力について

高田の雁木には、そこに吸い込まれてしまうような、長く続くトンネルのような雰囲気があり、その中には昔からの人々の想いが詰まっています。また、長年雁木のまちに暮らしていて、角巻きのイメージなど、自分の中に染み込んだ思いがあり、それを残したいため、雁木保全の活動をしています。

雁木の一部を切り取って残すような、作られた「まち」というのは、わざとらしくなってしまう、どこか構えているようで面白くありません。雁木下には、人と人のすれ違いがあり、そこに助け合いや譲り合いの気持ちがあります。そういった生活感のある空間が、ずっとつながっているからこそ、高田の雁木には価値や魅力があります。

生活の役に立っているからこそ雁木は残っており、「まち」に生かされています。それぞれの地域の良さを見つけるためには、「まち」に生かされていることを自覚して、「まち」を観察することが必要です。

## ●上越市の景観に対する思い

市内には、知らないところがたくさんあります。いろいろなところを回っていると、「この景色はいい」と思う場所がいくつもありますが、地元の人がその良さに気付いていません。

「景観」は他と違うことに価値があり、他とは違う「まち」にしていこう、という思いが大切になります。

住む人たちの「いいな、残したいな。」という思いが込められたものが「景観」です。皆さんも次世代に残したい、100年後に残したい風景を考えて、自分の「まち」を観察してみたいかがででしょうか。

# 市の景観施策を紹介します。

## ■景観セミナー

### ▶市民対象まちあるき景観セミナー 【平成25年7月27日(土)開催】

開府400年を迎える、歴史と文化に育まれた城下町・高田。そのまちなみや建造物を巡るまちあるきセミナーを行いました。

参加者の皆さんからは、「普段あわただしく生活している中で、景観を意識しながらまちを歩くことは、なかなかできない。良い経験をした。」「解説を受けながら景色を見ることで、違う視点から見ることができた。」といった声が聞かれました。

今後も引き続き景観セミナーを開催しますので、ぜひご参加ください。

### ▶職員対象景観セミナー 【平成26年1月21日(火)開催】

景観に関する職員の知識の向上を図るため、市職員向けの景観セミナーを開催しました。

景観資産の特定や景観アドバイザー制度など、市が行う景観事業の説明と、景観アドバイザーである吉田慎悟氏から、まちの色彩について講義を受けました。

## ■上越市景観審議会

市では、景観づくりに関する基本的事項や重要事項を調査・審議するため、上越市景観審議会を設置し、定期的に審議会を開催しています。

今年度は、平成25年5月と平成26年2月に開催し、市の景観事業の進め方、景観施策の方向性などについて審議しました。

このほかにも、景観に対する意識高揚や知識向上のため、様々な取組を行っています。詳細については、市ホームページをご覧ください。都市整備課までお問い合わせください。



▲市民対象まちあるき景観セミナーの様子(高田公園にて)



▲36人が参加した職員対象景観セミナー



▲景観施策について議論する景観審議会